

資源ファンド(株式と通貨)

ブラジルリアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース／
メキシコペソ・コース／トルコリラ・コース／米ドル・コース／円コース

OPECの減産合意を追い風に 上昇が期待される資源株

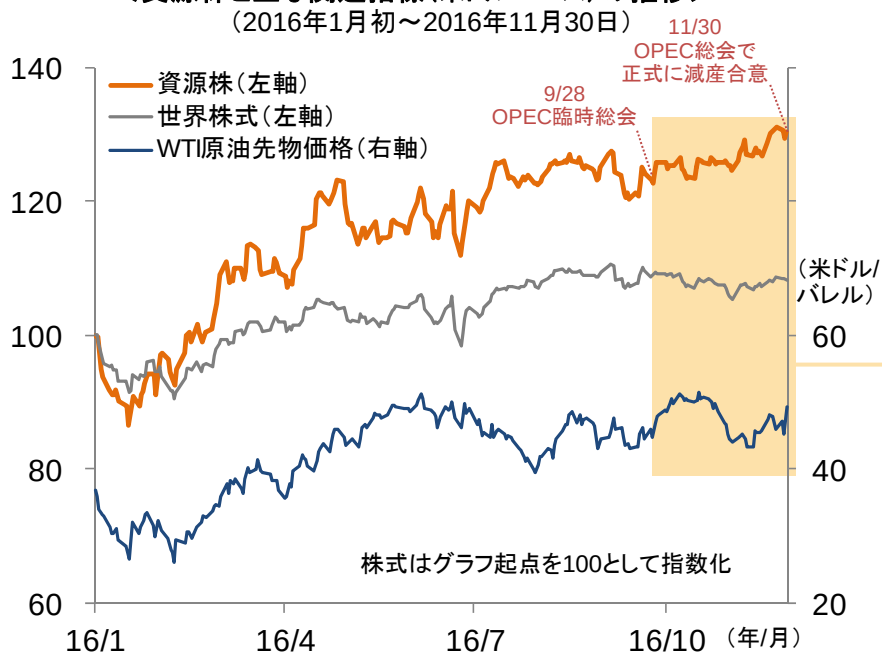
- OPEC (石油輸出国機構)は、予想外の原油の減産合意に至った9月の臨時総会に続き、11月30日の総会で、8年ぶりの減産で正式に合意しました。WTI原油先物価格は急上昇し、11月30日の終値は前日比9%高の1バレル49.44米ドルとなりました。IEA(国際エネルギー機関)は、OPECが減産合意を履行した場合、従来見通しよりも早い、2017年に需給が均衡するとしており、今回の決定は、原油価格にとってだけでなく資源株にとっても追い風になると考えられます。
- 次ページでは、資源株の今後の見通しについてご紹介いたします。



原油需給の改善期待を背景に上昇基調となる資源株

<資源株と主な関連指標(米ドルベース)の推移>

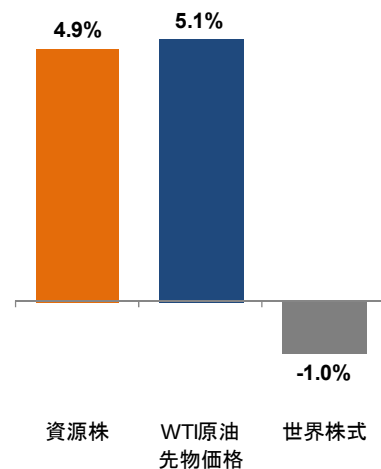
(2016年1月初～2016年11月30日)



9月のOPEC臨時総会以降、 資源株は堅調に推移

<騰落率比較>

(2016年9月28日～11月30日)



資源株: S&Pグローバル・ナチュラール・リソースズ指数(トータルリターン)

世界株式: MSCI ACワールド指数(トータルリターン)

※上記は当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース／メキシコペソ・コース／トルコリラ・コース／米ドル・コース／円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用者のコメント ～減産合意とエネルギー株の見通しについて～

減産合意

減産合意は原油価格の安定を通じてエネルギー企業の追い風に

- 11月30日に行なわれたOPECの定期総会では、OPEC加盟国の産油量(日量)を、9月の臨時総会で合意した範囲の下限である3,250万バレルとし、2017年1月から適用することで合意されました。これは、現状の水準から約120万バレルの減産となります。また、今回の発表ではロシアを含むOPEC非加盟国についても、合計で約60万バレルの減産を行なう方針が示されたため、合わせて約180万バレルの供給減が期待されます。
- 今回の合意を受け、原油および資源株の価格は大きく上昇しており、減産合意は来年の原油価格の下支え要因になるとみられます。また、エネルギー関連企業は、過去2年間の原油価格の下落局面において、大幅なコスト削減を行っており、現在もその努力を継続していることから、原油価格の上昇が限定的なものに留まる場合でも、エネルギー関連企業の収益性は改善傾向が続くと考えられます。
- ただし、米シェール関連企業の動向には注意が必要と考えます。テキサス州のパーミアン油田のような低コストの油田をはじめとして、米国の産油量は緩やかながら増加すると見込まれます。しかしながら、ほとんどのシェール関連企業が、過去数年間、過剰生産によって採算が釣り合わない状況を経験していることから、足元では、過剰生産に再び陥ることがないように生産の規律を保っているとみられます。

エネルギー株

原油価格の安定が期待されるなか、引き続き川上企業に注目

- 2016年7-9月期の決算発表では、ほとんどのエネルギー関連企業の売上高は市場予想を下回った一方、利益は予想を上回る傾向がみられました。また、総合石油企業については、川上事業におけるコスト削減が奏功し、前期と比較して利益の改善傾向がみられました。
- 原油価格が一定以上の水準で安定推移することを前提に考えると、引き続き「探査・開発」や「装置・サービス」といった原油価格の動きに対して感応度が高い川上分野のセクターが魅力的と考えられます。特に、低コストの油田を中心に、掘削活動の伸びが継続していることから、米国で油田サービスを提供する企業については、収益の改善余地があると見込んでいます。

※ 当資料は、当ファンドの主要投資対象である「ナチュラル・リソース・ファンド」を運用する日興アセットマネジメントアメリカズ・インクからのコメントなどをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

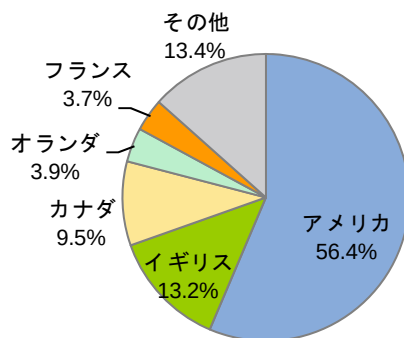
※以下は、当ファンドの主要投資対象である「ナチュラル・リソース・ファンド」のポートフォリオの内容です。

ポートフォリオ概要 (2016年10月末現在)

業種比率

業種	比率
エネルギー	51.3%
素材	44.8%
不動産	2.1%

国別株式組入比率



株式組入上位10銘柄

	銘柄名	国名	業種	比率
1	BHPビリトン	イギリス	素材	5.63%
2	ロイヤル・ダッチ／シェル	オランダ	エネルギー	3.87%
3	モンサント	アメリカ	素材	3.76%
4	トタル	フランス	エネルギー	3.67%
5	リオ・ティント	イギリス	素材	3.58%
6	エクソンモービル	アメリカ	エネルギー	3.30%
7	インターナショナル・ペーパー	アメリカ	素材	2.85%
8	シュルンベルジェ	アメリカ	エネルギー	2.81%
9	BP	イギリス	エネルギー	2.69%
10	シェブロン	アメリカ	エネルギー	2.65%

【銘柄数:71銘柄】

※上記比率は、「ナチュラル・リソース・ファンド」の組入株式評価総額に対するものです。
※各数値は四捨五入処理しておりますので、合計が100%にならない場合があります。

【ご参考】株式配当利回りと各通貨の金利差相当分

(2016年10月末現在)

	ブラジル レアル・コース	南アフリカ ランド・コース	オーストラリア ドル・コース	メキシコ ペソ・コース	トルコ リラ・コース	米ドル・ コース	円コース
株式配当利回り	2.58%	2.58%	2.58%	2.58%	2.58%	2.58%	2.58%
金利差相当分	13.28%	6.58%	1.10%	4.58%	8.12%	—	▲0.56%
合 計	15.86%	9.16%	3.67%	7.15%	10.69%	2.58%	2.02%

●株式配当利回り:「ナチュラル・リソース・ファンド」の株式配当利回り

●金利差相当分:各通貨の短期金利から米ドル短期金利を差し引いて算出。使用している各金利は以下の通り。

ブラジルレアル:1ヵ月国債利回り、南アフリカランド:ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリード・レート1ヵ月、
オーストラリアドル:1ヵ月物銀行手形金利、メキシコペソおよびトルコリラ:銀行間金利、円および米ドル:1ヵ月LIBOR

※各数値は四捨五入処理しておりますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

※金利差相当分は、各資源国通貨と米ドル間の金利差水準によっては為替取引によるコストとなり、運用成果にマイナスに働くこともあります。

※実際の運用においては、為替取引時の手数料相当額などが金利差相当分に加味されます。

日興アセットマネジメント アメリカズ・インクより提供された情報をもとに、日興アセットマネジメントが作成

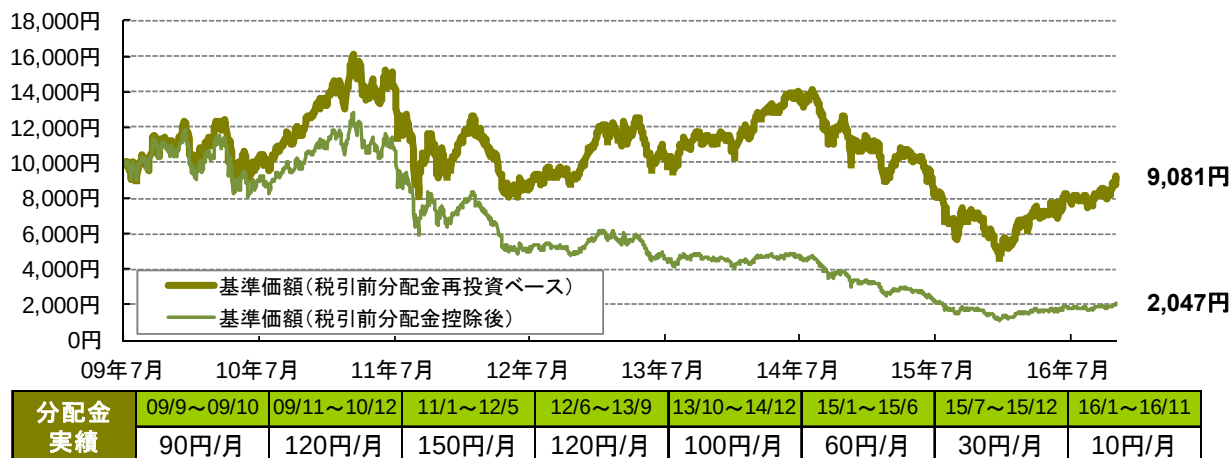
※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源ファンド(株式と通貨)ブラジルレアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース／メキシコペソ・コース／トルコリラ・コース／米ドル・コース／円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

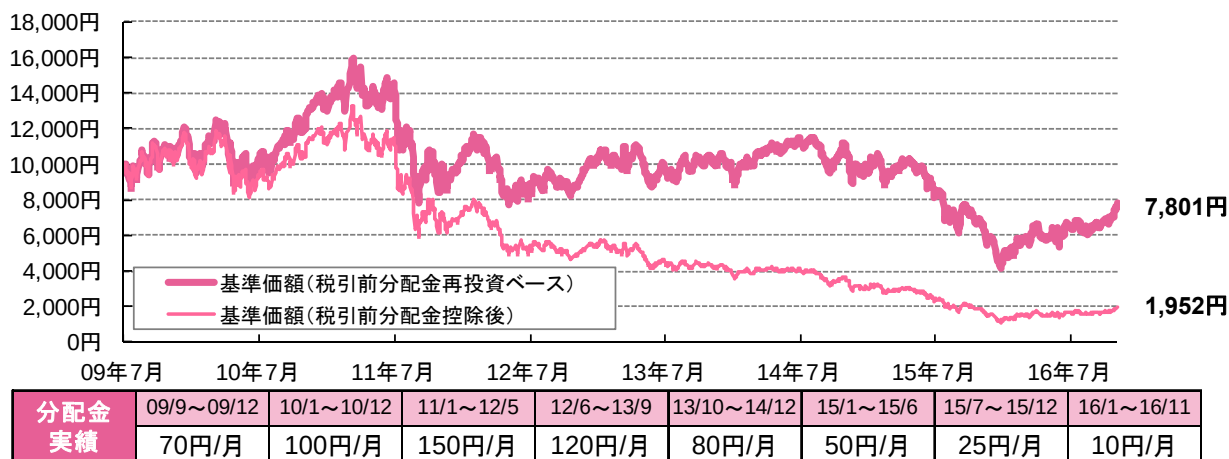
基準価額と分配金の推移

2009年7月31日(設定日)～2016年12月2日

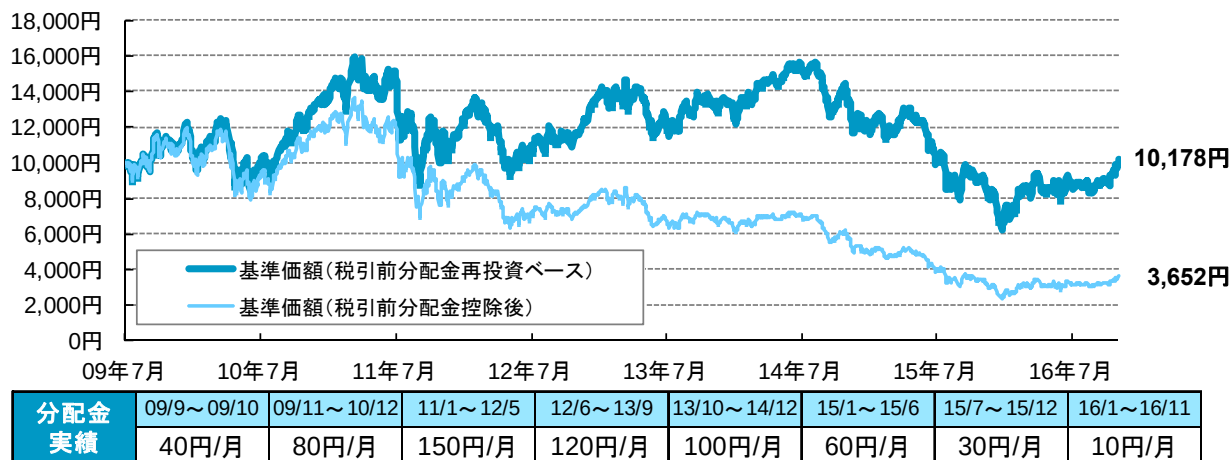
ブラジル リアル・ コース



南アフリカ ランド・ コース



オーストラリア ドル・ コース



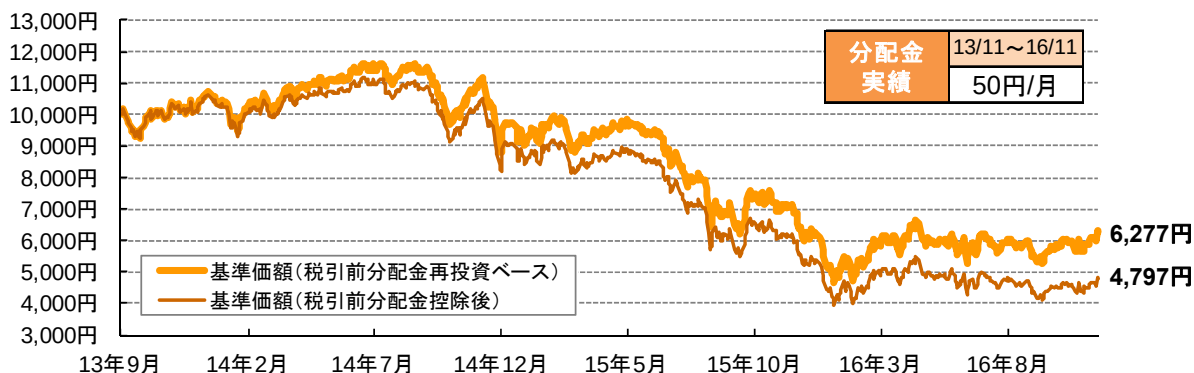
- ※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
- ※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
- ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものであることにご留意ください。
- ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース/メキシコペソ・コース/トルコリラ・コース/米ドル・コース/円コース」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

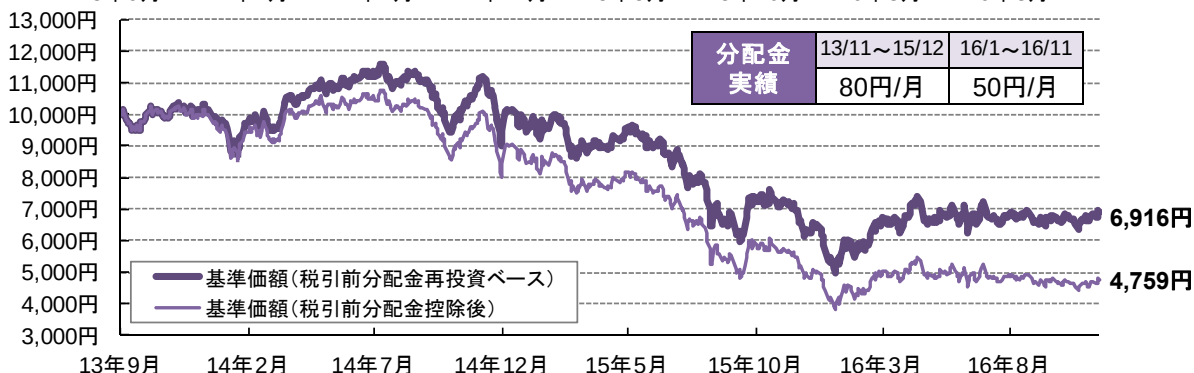
基準価額と分配金の推移

2013年9月18日(設定日)～2016年12月2日
※円コースのみ、2012年4月2日(設定日)～2016年12月2日

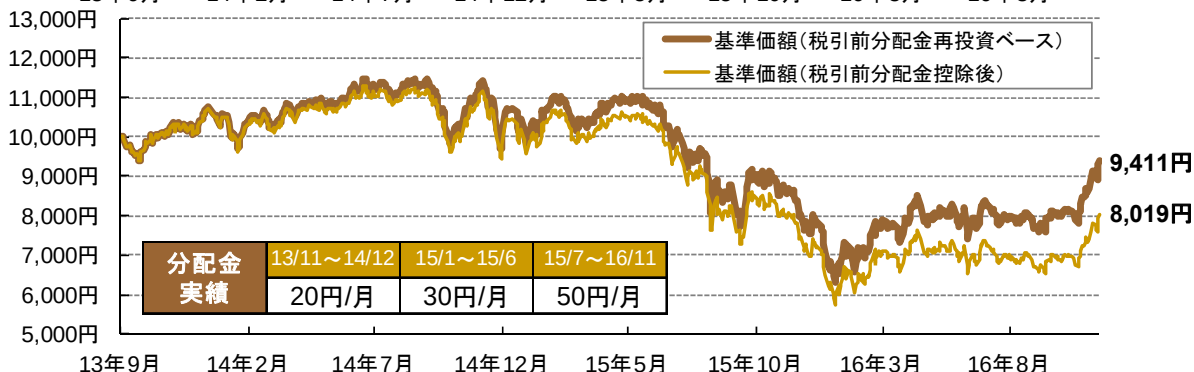
メキシコ ペソ・ コース



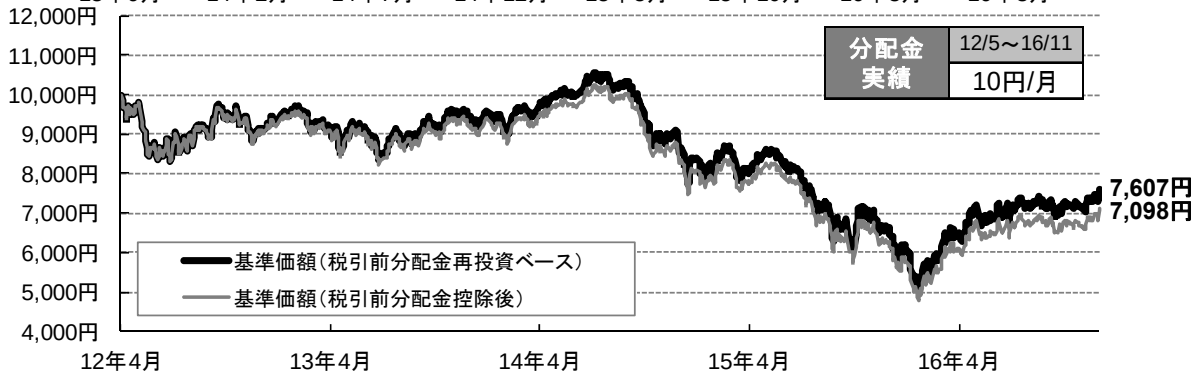
トルコリラ・ コース



米ドル・ コース



円 コース



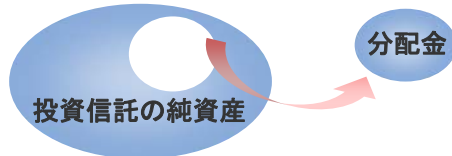
※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。
※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース/メキシコペソ・コース/トルコリラ・コース/米ドル・コース/円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

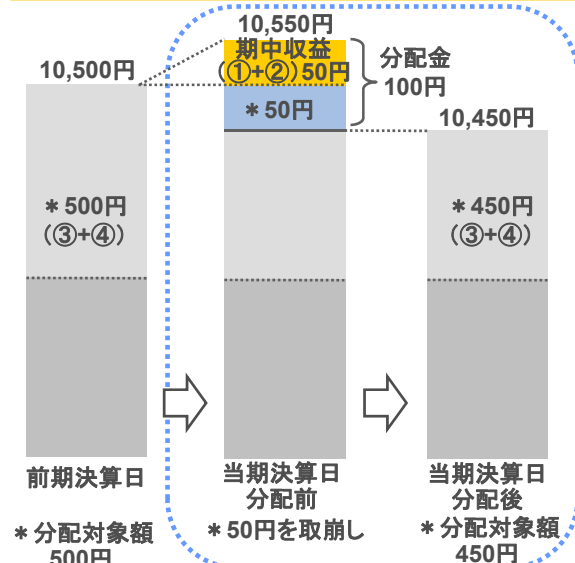
投資信託で分配金が支払われるイメージ



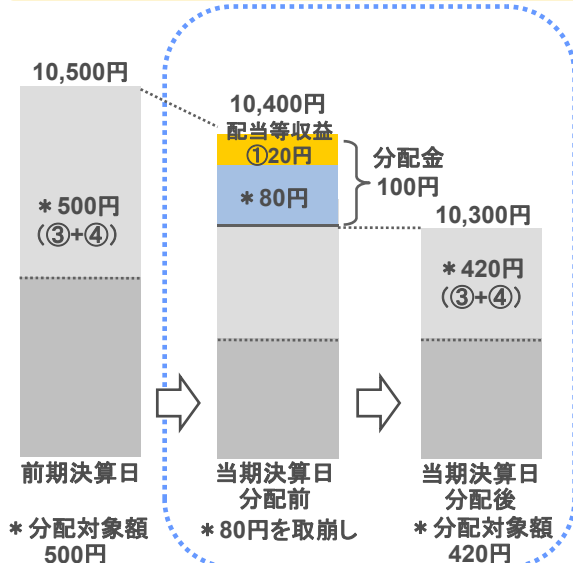
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



前期決算から基準価額が下落した場合

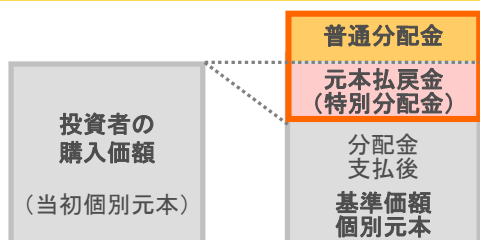


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

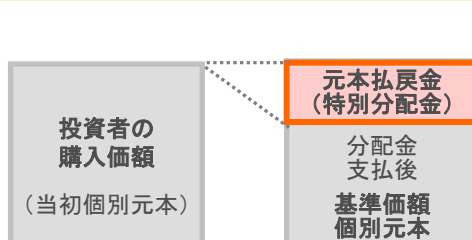
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

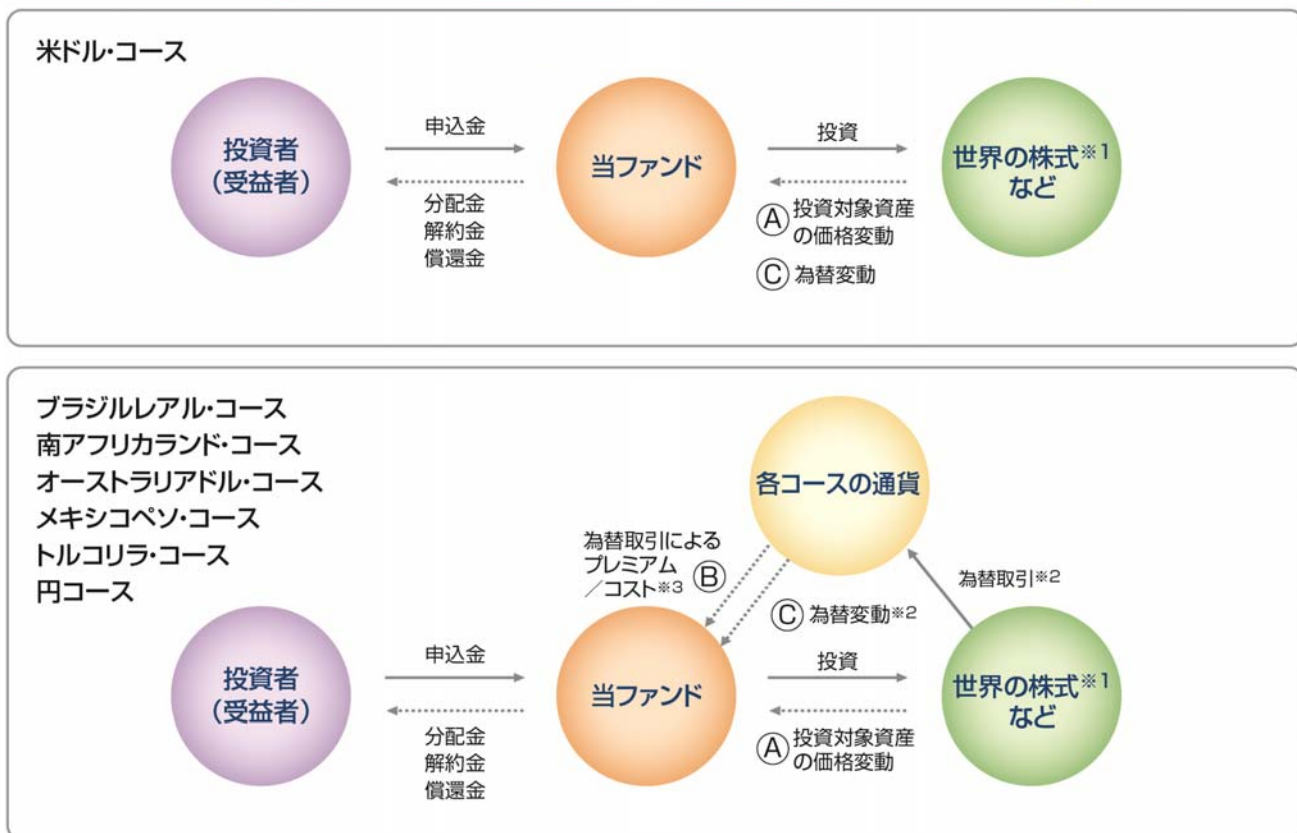
元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

■当資料は、投資者の皆様には「資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース/メキシコペソ・コース/トルコリラ・コース/米ドル・コース/円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項①

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産(株式や債券など)の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行っており、為替取引の対象となる通貨を選択することができます。

通貨選択型の投資信託のイメージ図



※¹ 当ファンドは、外国投資信託を通じて世界の株式に投資を行ないます。

※² 円コースは、原則として為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。各コースの通貨が円以外の場合には、各コースの通貨と円の為替変動リスクがあります。

※³ 為替取引によるプレミアム／コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益／費用です。

通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項②

- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。なお、収益源である3つの要素にはリスクが内在しています。詳しくは、「リスク情報」をご覧ください。

収益の源泉		=	(A) 株価の値上がり／値下がり	+	(B) 為替ヘッジプレミアム／コスト	+	(C) 為替差益／差損
米ドル・コース	収益を得られるケース		株価の上昇*		為替ヘッジを行なわないのでありません。		為替差益の発生 原資産通貨に対して 円安
	損失やコストが発生するケース		株価の下落*				為替差損の発生 原資産通貨に対して 円高

収益の源泉		=	(A) 株価の値上がり／値下がり	+	(B) 為替ヘッジプレミアム／コスト	+	(C) 為替差益／差損
円コース	収益を得られるケース		株価の上昇*		ヘッジプレミアムの発生 円の金利 － 米ドル金利 が プラス		原則として 為替ヘッジを行ない、 為替変動リスクの 低減を図ります。
	損失やコストが発生するケース		株価の下落*		ヘッジコストの発生 円の金利 － 米ドル金利 が マイナス		

収益の源泉		=	(A) 株価の値上がり／値下がり	+	(B) 為替取引によるプレミアム／コスト	+	(C) 為替差益／差損
ブラジルリアル・コース 南アフリカランド・コース オーストラリアドル・コース メキシコペソ・コース トルコリラ・コース	収益を得られるケース		株価の上昇*		プレミアム (金利差相当分の収益)の発生 各コースの 通貨の金利 － 米ドル金利 が プラス		為替差益の発生 各コースの通貨に対して 円安
	損失やコストが発生するケース		株価の下落*		コスト (金利差相当分の費用)の発生 各コースの 通貨の金利 － 米ドル金利 が マイナス		為替差損の発生 各コースの通貨に対して 円高

*ADRに投資する場合、ADRの価格には、当該現地株式の通貨に対する米ドルの変動が含まれます。そのため、当該現地株式の通貨に対して米ドル安であれば、株価上昇要因、当該現地株式の通貨に対して米ドル高であれば、株価下落要因となります。

※市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

通貨運用に関する留意事項

- 各通貨の運用に当たっては、直物が為替先渡取引(NDF取引)を活用する場合があります。
- NDF取引とは、投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行なう取引のことを言います。
- NDF取引では、需給や規制などの影響により、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)／コスト(金利差相当分の費用)が、短期金利から算出される理論上の水準から乖離する場合があります。そのため、想定している投資成果が得られない可能性があります。

■為替取引には、為替ヘッジ(原資産通貨を売り、円を買う取引)が含まれています。為替ヘッジの場合、「為替取引によるプレミアム／コスト」を「為替ヘッジプレミアム／コスト」といいます。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース／メキシコペソ・コース／トルコリラ・コース／米ドル・コース／円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

- 1 主として世界の資源株に投資を行ない、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
- 2 「ブラジルリアル・コース」「南アフリカランド・コース」「オーストラリアドル・コース」「メキシコペソ・コース」「トルコリラ・コース」「米ドル・コース」「円コース」の7つのコースがあります。
- 3 毎月、収益分配を行なうことをめざします。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みに際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式(預託証券を含みます。以下同じ。)を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース／メキシコペソ・コース／トルコリラ・コース／米ドル・コース／円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込メモ

- 商品分類 追加型投信／内外／株式
- ご購入単位 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
- ご購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- ご購入不可日 購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、購入のお申込みの受付（スイッチングを含みます。）は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 【ブラジルリアル・コース】【南アフリカランド・コース】【オーストラリアドル・コース】
2024年6月17日まで（2009年7月31日設定）

【メキシコペソ・コース】【トルコリラ・コース】【米ドル・コース】
2024年6月17日まで（2013年9月18日設定）
【円コース】2024年6月17日まで（2012年4月2日設定）
- 決算日 毎月17日（休業日の場合は翌営業日）
- ご換金不可日 換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、換金請求の受付（スイッチングを含みます。）は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い 原則として、換金請求受付日から起算して7営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時に直接ご負担いただく費用>

- 購入時手数料 : 購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、3.78%(税抜3.5%)を上限として販売会社が定める率とします。
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
- 換金手数料 : ありません。
- 信託財産留保額: ありません。

※ 販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。また、販売会社によっては、他のファンドとスイッチングを行なえる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.79%(税抜1.71%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.08%(税抜1%)、投資対象とする投資信託証券の組入りに係る信託報酬率が年率0.71%程度となります。
受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- その他費用 : **【ブラジルリアル・コース】【南アフリカランド・コース】【オーストラリアドル・コース】**
目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。
※組入る有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

【メキシコペソ・コース】【トルコリラ・コース】【米ドル・コース】【円コース】
目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。
※組入る有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社
- 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
- 受託会社
- 野村信託銀行株式会社
- 販売会社
- 販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
[ホームページ]http://www.nikkoam.com/
[コールセンター]0120-25-1404 (午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

【ブラジルリアル・コース】【南アフリカランド・コース】【オーストラリアドル・コース】

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○		○	
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○			
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMBCフレンド証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第40号	○			○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第114号	○			
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○			
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○	
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○		
ひろぎんウツミ屋証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○			
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○		○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

【メキシコペソ・コース】【トルコリラ・コース】【米ドル・コース】【円コース】

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○		○	
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○			
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMBCフレンド証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第40号	○			○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第114号	○			
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○			
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○	
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○		
ひろぎんウツミ屋証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(いずれも50音順、資料作成日現在)

■当資料は、投資者の皆様には「資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース／メキシコペソ・コース／トルコリラ・コース／米ドル・コース／円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。